

職員インタビュー

- ① 趣味 ②好きな食べもの
- ③好きな音楽・映画・本
- ④心に残る言葉

仕事は楽しく♪ 大島圭子(地球環境基金部)



「担当が大島さんで本当によかった!」。地球環境基金部で、民間団体への資金助成や人材育成、組織強化などを目的とした研修の企画立案と運営に携わっていますが、助成先の団体や研修生からそう言ってもらえたことはやはりうれしい思い出で、仕事のやりがいにつながっています。また、こうした業務の中でさまざまなステークホルダーの方と接してきたので、多角的な視点から環境保全活動を捉えられるようになりました。子どもの頃「人の役に立ちたい、社会に貢献したい」という夢を持っていましたが、今、環境分野の政策実施機関 ERCA で働くことで、その夢は実現したと思っています。

- ① 地域防災・消防団活動 ② かぼちゃの種 ③ 島崎藤村作詞「椰子の実」
- ④ 雨ニモマケズ(宮澤賢治)

笑顔を大切にしたい。山崎英理子(予防事業部)



就職活動では、さまざまな会社説明会に足を運びました。「人のためになる仕事」をしたいと考えていたところ、大学の就職支援センターから ERCA を紹介されました。利益を求めるのではなく、人や環境のために仕事をする。まさに希望通りでした。入職後、3つの部署を経験。その後、約2年半の育児休暇を取得しこの4月に復帰したばかりです。少し不安でしたが、皆さん今まで通り温かく接してください。仕事ではいつも思い出がありますが、特に補償業務部に配属された時、ERCAの仕事の重要性を再認識させられました。今はどんどん進化していく ERCA とともに自分も成長していきたい、そう思っています。また、ERCA では、仕事と家庭を両立されている先輩方がたくさんいらっしゃるの、皆さんを見習っていきなと思っています。

- ① お菓子作り ② 果物 ③ 映画「グレイテスト・ショーマン」 ④ 初心を忘れない、感謝する気持ちを忘れないこと(両親)

公害健康被害補償制度50周年、
気付けば私も50周年。川口佳連(補償業務部)



大学卒業後、マスコミ業界に就職。結婚・出産を経て職場に復帰しましたが、長女が2歳を過ぎたころ、子育てと仕事を両立できる職場で働きたいと考えるようになり、ERCAに転職しました。これまでに5つの部署を経験し、さまざまな業務を通してスキルを身に付けることができました。特に、石綿健康被害救済部では、健康被害に遭われた方々に寄り添い、その方の立場に立って考えられるようになりました。今日まで仕事を続けられているのは、上司や同僚の理解があったからこそです。長女が成人した時のひと言、「ここまで育ててくれてありがとう」。この言葉は今でも忘れられません。

- ① ピアノ演奏 ② アボカド ③ ラフマニノフ「バガニニの主題による狂詩曲第18変奏」 ④ 田村で金、谷で金、ママになっても金(谷亮子)

よく遊び、
よく働く。
佐古勇策(熱中症対策部)



子どもの頃の夢は、地図をよく見ていたので、地理や地図に関わる仕事に就くことでした。懐かしい思い出です。ERCAに入る前は民間企業で長い間、環境関連の仕事を担当していましたが、もっと深く関わりたいということで入職した次第です。5部門で都合7年近くやってきましたが、国会議員事務所へのアポ取りや利害関係者の皆さまからのご叱責など、今ではよい思い出となった苦労話もあります。多くの人と出会う中で、自分とは違う考え方や価値観を認められるようになったのではないかと思います。それから、自分のことは差し置いてでも相手の話に耳を傾ける、ERCAにはそんな優しい人が多いですね。

- ① マウンテンバイク ② 辛いもの以外 ③ CHAGE and ASKA「ロケットの樹の下で」 ④ The stupid neither forgive nor forget; the naïve forgive and forget; the wise forgive but do not forget. — Thomas Szasz

ERCA、全力前進。
合谷真弓(熱中症対策部)



20代後半に中途採用で入職。志望動機は、第1子が生まれ、この子の育つ環境に豊かな自然を残したい——、そんな思いから環境行政に携わることを決意しました。なので、採用された時は本当にうれしかったです。経験した業務はこれまでに9部門。組織内外、国内外で多様な価値観を持つ多くの方と触れ合うことができ、自分の考え方もその中で成熟していったと思います。ERCA 内部のことを言えば、とにかく「人」。人柄が良くどんなときも前向きに頑張る姿勢を見ていつも元気をもらっています。ERCA30周年の10年後は私も50代後半になりますが、経験のないこと、前例のないことにもチャレンジしていきたいです。

- ① 横浜Fマリノス ② 麺類 ③ bird「空の瞳」 ④ 日々是好日(祖母)

環境研究総合推進部の有期雇用の専門調査員として入職し、その後正職員となっても同部門一筋です。独立行政法人といえば融通の利かない組織と思われがちですが、そんなことはありません。創意工夫を惜しまない、柔軟で素早く対応する職場です。突発的に発生する業務や未知のことに対しても、必要な知識と情報を集めて乗り切る術を身につけられたと思います。現在も担当業務は増加の一途をたどっていますが、自らのエフォートも上限100の壁を越え、キャパシティを増やすべく努力しています。また、日々の生活においても、常に刺激を受け、「やりたいことを持ち続けること」が大事だと考えています。



エフォート200%の男。
塩家 翔太（環境研究総合推進部）



大学時代に植物の環境適応について学んでおり、「環境」というキーワードは常に身近にありました。もちろん、入職もその流れです。入職後の一番の思い出は、公害健康被害予防事業部で、医療従事者向けに実施した研修会です。約1年にわたる講義やグループワークでしたが、参加者同士のネットワークが構築され、ぜん息患者さんへの指導方法を熱心に相談し合う姿をよく見かけられるようになりました。担当者として関わられたことをうれしく思うし、その中で自分も成長できたと思います。入職して10年にも満たないのですが、その間にも新しい業務が増え、ERCAが担う役割が変化している点が面白いと感じています。



もっとERCAのことを知りたい。
寺田 早紀（財務部）

①パン作り ②寿司 ③赤い鳥「翼をください」 ④人事を尽して天命を待つ（両親）

JAXAといえば“宇宙”というイメージがあるように、10年後にはERCAといえば“環境”と皆さんに知ってもらえる組織になればうれしいですね。入職のきっかけは、大学で環境保全を学んでいたこと。就職に際していろいろ調べましたが、環境に関わる仕事であり、働き方も自分の希望に合っていたのでERCAに決めました。JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）への出向も経験させていただき、大変勉強になっています。これからの働き方については、単に労働時間を減らすのではなく、効率的に業務を行えるよう体制を整え、プライベートの時間も確保したメリハリのある生活ができればと思っています。



ワクワクを選びたい！
渡邊 恭子（環境研究総合推進部）

入職は、就職情報サイトでERCAのことを知ったのがきっかけ。環境問題に興味があり、出産・子育てをしながら長期的にキャリアが積みそうな就職先を探していたので、見つけた時は体中に電気が流れるような感じでした。いろいろな部署を経験しましたが、地球環境基金課に所属していた頃の「地球環境基金20周年あり方検討会」の印象が強いですね。地球環境基金のこれまでの総括と将来の方向性を話し合う検討会で、メンバーと熱く語り合ったものです。その話し合った内容を実際の業務（振興事業（研修等））で形にできたときは、とても嬉しかったです。こうした経験を生かし、今年度からは総務課で機構全体の研修業務も担当することになりました。川崎駅から徒歩3分！デッキがあるので雨に濡れずに出社できるオフィスで頑張っています。



伸びしろしかない！
石上 恵梨子（総務部）

①お酒 ②ポテト ③桑田佳祐「波乗りジョニー」 ④あきらめたらそこで試合終了ですよ（漫画『SLAM DUNK』安西先生の台詞）

小さい頃、森林保全に関心がありましたが、虫全般が苦手と断念。大学では環境法を専攻し、環境保全分野に進みたいと思っていましたが、理系分野の求人が多くなかなか仕事が見つかりませんでした。そんな中、求職サイトでERCAを見つけ入職。これまで、石綿健康被害救済部と予防事業部で約10年業務に携わっており、セミナーや研修会を全国各地で開催。参加者から「ありがとう」と声を掛けていただくこともあり、実際に足を運ぶことの重要性を実感しています。個人的には、子どもが生まれてから週5日約8時間という勤務スタイルが難しくなりましたが、テレワークなどの制度が整備され助かっています。



ワークライフバランスを大事に。
（石綿健康被害救済部）

①旅行 ②チョコレート ③映画「ミュウツーの逆襲」 ④万物は流転する